

ハナナ
Brassica
(アブラナ科)

ハナナ(花菜), 菜の花, ナタネ(菜種)と産地により異なる名称で出荷されている。春のイメージだが, 年末から桃の節句(3月3日)までの冬～早春の代表的な露地切り花。3月になり気温が上昇すると一気に開花し, 日持ちが極端に短くなる。つぼみで流通し, 開花した切り花には商品価値がない。葉には強い縮み(ちりめん)があり, ほとんど無肥料で栽培しているため葉色は黄色味を帯びた淡緑色。横に寝かした状態で保管すると花穂が曲がる。後処理剤の使用で日持ちがのびる。

1) 品質評価基準

項 目	判 定 基 準	備 考
花穂の老化	A: 未開花～花穂下部の4～5小花が開花 B: 花穂下部の開花した小花の花梗が伸びる C: 花穂中位まで開花し, 下部の小花が萎凋しはじめる さらに小花の重みで花穂が曲がり始める D: 花穂先端のつぼみ以外の小花が開花し, 下部の小花が萎凋・枯死または落弁する。さらに花穂が曲がり, 下を向く	・花穂の下から上へ順次開花する。 ・1小花は2～3日で萎凋し, すぐに結実し英ができる。
葉の黄変	A: すべての葉が淡緑色で, 黄変がない B: 下葉の先端がやや黄変する C: 下葉全体が黄変または黄変はしないが萎凋し, 垂れる D: 下葉が褐変・枯死し, 垂れる, あるいは落葉する	・健全な葉でも黄色味を帯びた淡緑色。 ・花びんに数本を生けると下葉が黄変しやすく, 1本だけでは萎凋して垂れやすい。
その他		

2) 留意点

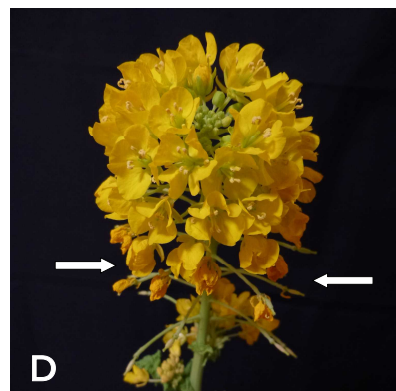
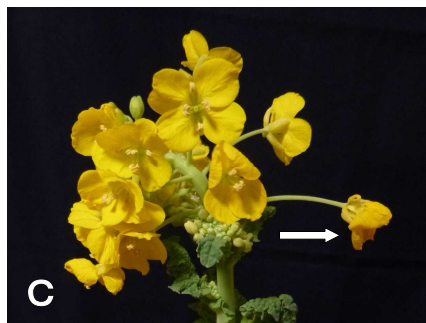
- ・水あげが良いので, 花びんの水不足に注意する。
- ・茎が中空で腐りやすいので, 後処理剤は必須である。
- ・後処理剤の使用で, 切り花長は伸びるが, 花梗は徒長しない。さらに葉色が濃くなり, 萎凋しにくくなる。

3) 開花



4) チェック事項

小花・花穂の老化



葉の黄変・萎凋

